

地域活動を応援する

地域のわ通信

R7年11月
NO.93

過去の「地域のわ通信」は、
こちらをご覧ください。



パパたちの子育てを応援したい！ 地域の新たなつながりを生む 「パパの赤ちゃん学級」

なかなか地域とのつながりを作りづらいパパたちが出会い、育児の悩みを共有し、ちょっとした生活の知恵も学べる場が「パパの赤ちゃん学級」。活動開始から1年、少しずつ参加者が増え、地域のパパたちの交流が広がっています。今回は代表の平原亜紀子さんに、活動の背景や思い、これまでのエピソード、そして今後の展望について伺いました。



写真（中央）：パパと笑顔で交流する平原さん

「パパの赤ちゃん学級」はどんな活動ですか？

地域づくり大学校(*)の卒業生を中心に、助産師や地域の仲間など7名で「パパの赤ちゃん学級」を立ち上げました。2024年に、パパの赤ちゃん学級実行委員会（以下、実行委員会）をつくり、その年の6月から活動をはじめました。神北地区の町内会館やケアプラザなどを会場に、年3回程度で開催しています。実行委員メンバーが専門知識や経験をシェアする「知恵袋コーナー」を設け、育児や生活に役立つ情報を学べます。さらに、フリータイムではパパ同士が自由に交流し、気軽に話せる時間を大切にしています。

(*) 神奈川県区地域づくり大学校
地域の新たなつながりを創り出し、実現したい活動をカタチにしていける連続講座。

活動のきっかけと立ち上げ時の思いは？ 「この町って案外イね！と感じてほしい」



「パパの赤ちゃん学級実行委員会」を支える仲間と平原さん（写真中央）

民生委員として活動する中で、子育てに積極的なパパたちが、悩みを話したり、同世代と出会える場が地域にはほとんどないことに気づきました。パパたちが気軽に集まり、学び、語り合える場をつくりたい。そんな想いで始めました。この活動を通して、パパたちが住む町をもっと好きになり、家族ぐるみで地域と関わるきっかけになれば——それが私たちの願いです。

活動を始めるにあたっては、地域づくり大学卒業生の一組を支援する「かながわ地域支援補助金」を活用しました。

印象に残っているエピソードや参加者の声を聞かせて！ 「共通点があるから、自然につながる」



赤ちゃんと一緒に談笑するパパたち

印象に残っているのは、初めて会ったパパ同士が、赤ちゃんの月齢や育児の悩みをきっかけに自然と会話を始め、「うちもそうなんです！」と共通点を見つけて、すぐに打ち解けていく姿がとても印象的でした。

この学級には、掲示板を見て参加された方や、奥さんの紹介で来られたパパも多くいます。実は、パパだけでなくママも一緒に参加されることもあります。子育て世代が地域に関心がないわけではなく、ただその“きっかけ”を見つけにくいだけなのかもしれません。



パパたちの交流タイム

今後の展望とパパたちへのメッセージを！

まずは、「毎日、育児おつかれさまです」と伝えたいです。仕事に育児に、忙しい毎日の中で、赤ちゃんと向き合う時間を大切にしているパパたち、本当にすごいと思います。今後は、参加して下さったパパたちの声をもっと聞き、今、何に困っていて、どんなことを知りたいのか——そんなリアルな声を活動に活かしていきたいです。いつか、参加したパパ自身がこの学級の“サポーター”として、次のパパたちを応援する側になってくれたら嬉しいですね。



10月は「白楽丘の上保健室カフェ」とコラボし開催

助産師さんを講師に「パパとママの心とからだ」についての紙芝居とカードを使って学んでいる様子

『パパの赤ちゃん学級』次回予告！

会 場	横浜市六角橋地域ケアプラザ ＊最新の予定は「パパの赤ちゃん学級」 Instagram： https://www.instagram.com/papaakagaku/ をご確認ください
活動日	令和8年2月7日（土）午前中
内 容	かんたん離乳食！1品クッキング（予定が定変更になる場合があります）
参加費	材料費として100円を予定
お問合せ	■パパの赤ちゃん学級実行委員会 papaakagaku@gmail.com

Chikiryoku Up!